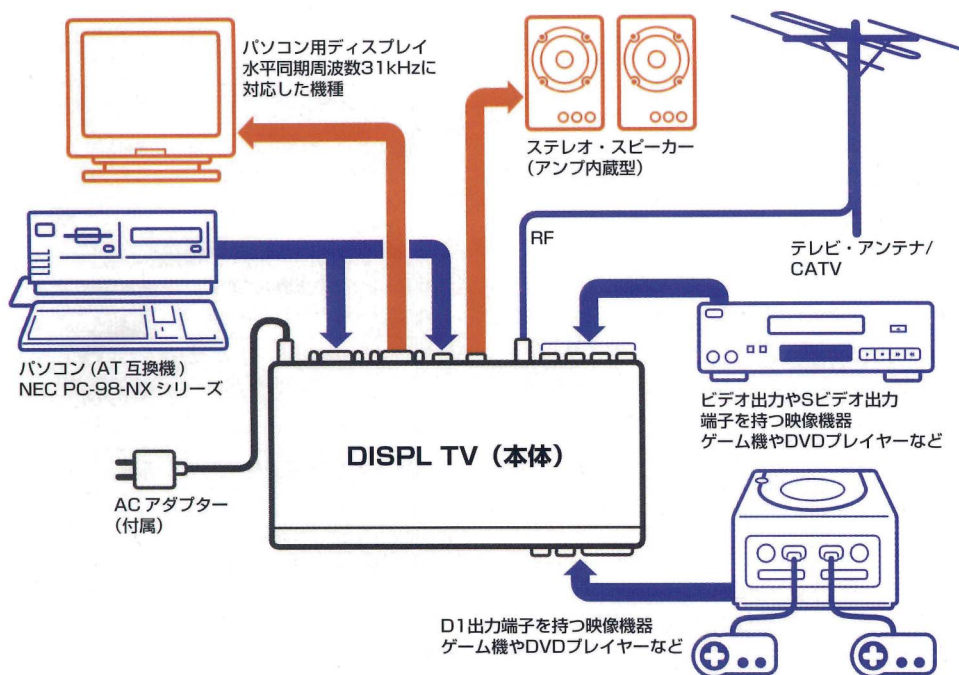




今度のは、テレビも映せる。



TVチューナー内蔵アップ・スキャンコンバーター・ユニット

DISPL TV

UP/SCAN/CONVERTER UNIT

ディスプレイ・ティービー 標準価格**28,800円**(税別) DP3913391000 JANコード4961997001080

マイコンソフト社ホームページ <http://www.micomsoft.co.jp>

発売元: (株)電波新聞社 販売部

〒141-8735 東京都品川区東五反田1-11-15 ☎03-3445-8201 (ダイヤルイン)

東京本社 03-3445-6111 (大代表)

大阪本社 06-6203-3361 (大代表)

西部本社 092-431-7411 (大代表)

札幌支局 011-641-5591

仙台支局 022-227-7211

新潟支局 025-245-2526

企画・開発: マイコンソフト株式会社

〒530-0005 大阪府北区中之島3-2-4 朝日新聞ビル6F (電波新聞社大阪本社内) ☎06-6203-2827

関東総局 027-326-3206

松本支局 0263-36-2266

名古屋支局 052-261-4541

金沢支局 076-263-8661

京都支局 075-221-8021

広島支局 082-228-5581

高松支局 087-861-3111

鹿児島支局 099-226-3630

DISPL TVの特徴

DISPL TVは、パソコン用のディスプレイにテレビ映像を表示したり、ビデオ出力やS出力、D1出力端子を持つゲーム機や、DVDプレイヤーの映像を表示する変換装置です。

通常パソコン専用ディスプレイは、端子の形状や対応周波数が違うため、家庭用のゲーム機やDVDプレイヤーの映像を表示することは出来ませんが、DISPL TVを使用すれば、これらの映像を表示することが可能になります。

DISPL TVには、テレビ・チューナーが搭載されていますので、テレビのアンテナ・ケーブルを接続すれば、テレビ放送も見ることができます。

パソコン専用ディスプレイにゲーム映像やDVD映像、さらにはテレビ映像まで映せるボリュームたっぷりのDISPL TVを是非一台お手元に…。

仕様

映像方式 NTSCカラー

映像 コンポジット・ビデオ (NTSC準拠) 1Vp-p (75Ω)

入力 S端子 (NTSC準拠) 4ピンmini DIN

Y信号 1Vp-p

C信号 バースト信号部で0.286Vp-p (75Ω)

D1端子 (NTSC準拠・525i)

14ピン・アンフェノールハーフピッチ

Y信号 1Vp-p

PB信号 0.7Vp-p (±350mVp-p)

PR信号 0.7Vp-p (±350mVp-p)

15ピン・アナログRGB端子 (スルー出力用)

HD-SUB

映像出力 15ピン・アナログRGB端子 HD-SUB

電源ON時: RGB信号0.7Vp-p (75Ω)

同期信号TTLレベル (V:60Hz、H:31kHz)

※出力同期信号は入力される映像信号によって若干異なります。

電源OFF時: 15ピン・アナログRGB入力端子 (PC IN) からのスルー出力

音声入力 電源ON時: ビデオ/Sビデオ音声入力、D1音声入力の各端子より音声を入力。

電源OFF時またはスタンバイ時: パソコンからの音声を入力

音声出力 電源ON時: ビデオ/Sビデオ音声入力、D音声入力の各端子からの音声を出力。

電源OFF時またはスタンバイ時: パソコン音声入力端子からの音声を出力。ただし、ヘッドフォン端子は電源OFF時は使用不可

画質 水平同期周波数31kHz時 (サンプリング周波数27MHz)

水平解像度720ドット (サンプリング・ドット数)

色階調: YUV 4:2:2

チューナー部 地上波62ch/CATV63ch対応

MTS対応 (ステレオ、モノラル、二重音声対応)

Y/C分離: コムフィルター

電源 専用ACアダプターにより供給

DC 6V 最大消費電流 2A 消費電力 12W

本体寸法 W230mm×D130.5mm×H39.25mm

(ボタン、コネクター、ゴム足を除く)

重量 本体:550g 電源アダプター:120g

※重量は生産時期によって若干変わることがあります。

DISPL TVの特徴

特徴1: 映像調整機能

DISPL TVは、ブライトネス調整（明るさ）、コントラスト調整、サチュレーション調整（色の濃さ）、ヒュー調整（色合い）（※D端子入力はありません）、シャープネス調整（※D端子入力はありません）、ガンマ調整（0～19段階）の調整ができます。

特徴2: 音声調整機能

ボリューム調整、L/Rバランス調整、BASS調整（低音調整）、TREBLE調整（高音調整）、ラウドネス機能（音に広がりを与える機能）、二重音声モード選択機能（メイン/メイン+サブ/サブの切り替え）の調整ができます。

特徴3: テレビ機能

12チャンネル自動/手動割り当て機能、リモコンチャンネル・ボタンの12KEY/10KEY切り替え機能、ステレオ/モノラル/二重音声の自動識別が備わっています。

特徴4: 表示方式

変換された映像は、プログレッシブ表示（ノン・インターレース）で出力されます。

テレビ映像やゲーム機^(※1)の映像を、画面のちらつきを抑えて表示することが出来ます。

近年は、インターレースモードを使用しているゲームが増えており、アナログ方式のテレビでは画面のフリッカー（ちらつき）が目立つ事が多いですが、本機を使用すれば、これらのちらつきを抑えて表示することができます。

※1 旧型の一部のゲーム機では、映像を正しく表示できないことがあります。

対応ディスプレイ

DISPL TVは、水平同期周波数31kHz（640×480ドット）の画面モードを持つ、15ピン・アナログRGBディスプレイに接続して使用することができます。

対応ディスプレイの例

（DOS/Vまたは、PC-98NX対応の機種）

ブラウン管 タイプ	MITSUBISHI RDシリーズ NANAO Tシリーズ、Eシリーズ、 Fシリーズ iiyama MTシリーズ SONY CPDシリーズ
--------------	---

対応ディスプレイの条件

上記対応表に掲載されていないディスプレイでも、下記の対応条件が満たされていれば基本的には問題ありません。

- 画面サイズが640×480ドットの画面モードに対応できる機種。
- 水平同期周波数が31kHzに対応したブラウン管タイプのパソコン用ディスプレイ（水平同期周波数が「31kHz～56kHz」のように31kHzを含んでいれば問題ありません）
- 垂直同期周波数が60Hzに対応したディスプレイ（垂直同期周波数が「60Hz～75Hz」のように60Hzを含んでいれば問題ありません）
- 図1の15ピン・アナログRGB端子を持つ機種

ご注意

ディスプレイについての注意事項

- DISPL TVを使用すると、光線銃やライトペンなど、画面の走査線を直接読みとる装置は使用できません。
- DISPL TVに、液晶ディスプレイを接続すると、正しく画面を表示できないことがあります。本機は液晶ディスプレイでの動作を保証しておりません。
- 水平同期周波数31kHzの画面モードを持つディスプレイでも640×480ドットの画面サイズに対応していないディスプレイでは、動作を保証することができません。
- FUJITSU社の旧型パソコンFM-TOWNS用ディスプレイには対応していません。
- SHARP社の旧型パソコンX68000用ディスプレイには対応していません。
- PC-9801専用ディスプレイなど水平同期周波数24kHz専用ディスプレイには対応していません。
- 水平同期周波数15kHz専用ディスプレイには対応していません。
- 旧型のデジタルRGBや、DVI、DFPの端子を持つディスプレイには接続できません。
- APPLE社Macintosh専用ディスプレイには対応していません。※"Macintosh"はApple Computer社の登録商標です。
- 蛍光体が、中残光や長残光のディスプレイでは、画面に残像が表示されるため接続はお薦めできません。
- 以下のディスプレイは、水平同期周波数31kHz（640×480ドット）の画面モードに対応しておりますが、弊社の検査で正しく動作しないことを確認しております。EPSON CRシリーズ ※2（CR-4500、4700、5500、7500、7600、7700、8000など）※2 PC-9801互換機時代に販売された機種です。

入力される映像信号に関する注意事項

- 室内用TVアンテナを使用された場合や、テレビ放送の受信状態が悪い時、ディスプレイに全く映像が映らないことがあります。特に、室内アンテナは受信感度が低いため、安定した表示ができないことがあります。
- ビデオテープの再生映像について
ビデオデッキやビデオカメラによるビデオテープの再生映像を入力した際の動作保証はできません。
ビデオデッキやビデオカメラによるビデオテープの再生映像は映像信号がたいへん乱れています。
このため、本機やディスプレイが映像信号を正しく読みとれないことがあり、「画面が点滅する」、「ディスプレイが省電力モードになる」などの症状が発生することがあります。これは、本機やディスプレイの仕様であり、改善することはできません。あらかじめご了承下さい。
- 業務用ゲーム機の映像には対応していません。
- 本機はNTSCカラー方式の映像信号に対応しています。

PAL方式には対応していません。

また、NTSCであってもモノクロ方式の映像に関しては動作を保証できません。

- 本機のD入力端子はD1（525i）専用です。D2（525p）やD3（1125i）の映像を入力することはできません。
- ゲーム機をご使用のお客様へ
旧型のゲーム機を接続すると、画面が上下に激しく揺れたり、画面の上部が歪むことがあります。この様なゲーム機の映像を入力すると、ディスプレイの機種によって画面が全く表示されないことがあります。
また、ゲーム機（特に旧型の機種）を接続される際に、画面の中央に変色した縦帯の様なノイズが表示されることがあります。この症状は、Sケーブルやビデオ・ケーブルの外周のシールド線が正しく接地されていないか、ゲーム機自体の構造上の問題によるもので、本機の故障や不良ではありません。

画質や画面表示について下記の点をご了解下さい

- 本機の画質や鮮明度は、必ずしもお客様の納得のいくものではない可能性があります。
- 画面の変化（画像の動き）が激しい映像では、映像が櫛状（ギザギザ）に表示されることがあります。
- 本機に接続されたパソコンのスルー出力映像の鮮明度は、元映像に比べ劣化します。

アンテナ工事やRFケーブル加工時のトラブルについて

本機にRFケーブル（アンテナ線）を接続する際に、アンテナ工事やRFケーブルなどの加工作業で発生した、怪我、事故、故障、損害、費用に関しましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

RFケーブル（アンテナ線）の取り扱いや加工について不安がある方は、本機をご購入された販売店か、お近くの家電店に相談されることをお奨めします。

プロジェクターとの接続について

本機をプロジェクターやプロジェクション・テレビに接続した際の動作やトラブルに対し責任を負いかねます。

業務用途での使用を検討されている法人の方へ

本機は、一般家庭でテレビを見たり、ゲーム機などを接続して使用することを前提として開発された、コンシューマ向けの製品です。このため、業務用途で使用された場合の製品の耐久性や保守、サポート面で、お客様のご要望に添えないことがあります。

弊社では法人様向けの特別な保守サービスは行っておりません。また、業務用途で使用した場合、本機が何らかの原因で故障した際の二次的な損害に対しては責任を負いかねます。あらかじめご了解の上、ご購入をご検討下さい。

ガンマ調整ってなんだろう？

パソコンのディスプレイは、仕様上の問題から、家庭用のテレビよりも画面が暗くなっています。画面が暗いので、画面の暗い部分の微妙な色の変化が分かりづらくなります。

それならば、「画面全体を明るくすれば良いのでは？」と思われるかもしれませんが、パソコン用ディスプレイの明るさには上限があり、画面を明るくしすぎると、映像の明るい部分の情報が損なわれて「真っ白」になってしまったり、「色

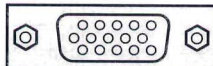
ダレ」が発生してしまいます。

しかし、映像をガンマ補正すれば、画面の明るい部分の情報をできるだけ損なわずに暗い部分を明るく表示できるようになります。

ガンマ補正は、パソコンのビデオカードや、デジタル処理が行われている家庭用テレビでよく用いられる手法です。

DISPL TVでは、19段階のガンマ調整を行うことができます。

図1



15ピン・アナログRGB端子
（DOS/V・VGA仕様）